

日本小児神経学会から「東日本大震災」に被災された皆様と担当医の皆様へのお知らせ

「東日本大震災」に被災された皆様に対し、日本小児神経学会から衷心よりお見舞い申し上げます。

皆様の中には小児神経疾患のため治療中の方がいらっしゃることで大変心配しております。当学会といたしましては、被災された患者さんが薬の喪失、受診困難のために服薬が継続できなくなるようなことのないように対策を講じることが、第一に必要なだと考えております。

小児神経疾患の中には様々な病気がありますが、なかでも毎日薬を内服する必要がある代表的な病気はてんかんです。服薬しているお薬の名前と量をメモしていただくことが大切ですが、記録がない場合には、お薬そのものを持って行っても調べて処方していただくことができる可能性があります。抗てんかん薬の処方継続のための情報は日本てんかん協会、さらに国立病院機構静岡てんかん・神経医療センターのホームページに情報が掲載されており、ここには本学会員の情報も順次追加されますので、必要に応じてご参照下さい。

また、その他の疾患についても受け入れ可能な施設、医師について学会として調査中です。今後情報が集まり次第、日本小児神経学会ホームページでお知らせいたします。また、担当医の皆様にも有用な情報を順次掲載していきますので、ご参照下さい。

大災害の全容はまだ明らかになっておりませんし、事態の今後の進展も大いに危惧されるところであります。日本小児神経学会としては被災された皆様に一日も早く十分な援助が届き、復興への道筋がみえてくることをお祈りし、私達として出来る支援を模索していきたいと考えております。

2011年3月16日

一般社団法人日本小児神経学会